



指揮をよく見て！楽しんであわせよう！

10周年まで あと 76日（練習回数は あと 6回）

1月24日の練習から

花は咲く：

- ・第2部の最後に歌う。（会衆と一緒に。3.11を風化させないために）
- ・p2のCからp4のEのコーダへ飛ぶバージョンで歌う予定だがもう少し検討する。
- ・p7（きみのためにー）の「にー」は、4拍きちんと伸ばすこと。

少年時代：

- ・p21の（なつまつり）は、自然にスパッと入ってきて。アルトの音が聞こえない。
- ・p22（あおぞらに）は、もう一度歌い直さないと、気持ちがしまらない。
- ・p23（ながいふゆが）の男性の音が聞こえない。音が下がりがすぎない事。
- ・p23（まどをとじて）の「じ」の音がSPは、半音しか下がっていない。しっかり下がる。
- ・p24（あとさき）は、2拍伸ばしきちんと切る。そのあとのピアノのsfの音を聞いて、Cからはfで、もりあがっていく。
- ・p26のHmは、テヌートで長めにまっすぐ。
- ・p28が歌い終わったら、p23の2番（めがさめて ゆめのあと）にいく。
- ・p26の1小節を歌い終わったら、p29のコーダに飛ぶ。迷わない様に。
- ・p29の（Hm）mfで大きめでやわらかく。（Huh）は、スラーで歌うように。最後の1小節はrit。最後の音は、はフェルマータで丸く優しく終わる。



お祭りマンボ：

- ・伴奏のピアノがあおっているの、それに乗って歌おう。もっとしゃべること。
- ・音を取ろうとして歌っているが、音は体にはいつているので、音を逸脱してもいいような気分でもっと楽しんで歌ってほしい。（お祭り気分）
- ・p21（あめがふろうが やりがふろうが）は女性全員で。
- ・p24（まつりだ まつりだ まつりだ）は、各パート遅れずに入ってくる事。ゆるくならない様に。切りは揃えて。
- ・p25の1段目が歌い終わったら、p21の2番に男性が戻る。（あめがふろうが やりがふろうが）は男性全員で。
- ・p25のBLUESは、レガート感を出しながら、拍を進める感じで。
- ・p27、（あとの）は、Meno mosso（ゆるく）でffで、テヌート。一つずつ歌う。（指揮を見る）（まつりー）はアクセントをつけて、テヌート。「りー」は長めに。呼吸を合わせて。（指揮を見ること）楽しんで合わせよう。ここは決めたい。

落葉松：

- ・p37の1小節の最後は長めに伸ばし、歌い終わったらp41の3小節に飛ぶ。（かーらーまつの）「かーらー」は表情豊かに長めにたっぷり歌う。「まつのー」ははやくならないように。
- ・p42（わたしのー）（こころがー）（ぬれるー）は、一つずつ長めに。指揮をよく見て。
- ・p42の最後のmーは、伴奏をよく聞いて、一つずつ指揮に合わせて。一番最後の音は、lungaで長く（10秒くらいは伸ばすつもりで）。切りは指揮を見て。